

令和3年消防辞令交付式・感謝状贈呈式が行われました

世界農業遺産認定申請へ向けて2次審査会が行われました

奥出雲町農業遺産推進協議会は、世界農業遺産の認定に向け、昨年7月に「たら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」の申請を農林水産省へ行い、1次審査を通過し、現地調査を終えました。そして、本年1月27日、2次審査が役場仁多庁舎で行われ、町長はじめ関係者26名が参加しました。

当初、2次審査のプレゼンテーションは、東京で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの審査となりました。プレゼンテーションの動画と資料を事前に審査員である世界農業遺産等専門家会議へ送付し、当日は各委員からの質疑応答が行われました。

当協議会の担当者は、「2次審査では、好意的なアドバイスをいただいたと感じた。今後は、世界農業遺産認定に向け、代々受け継がれてきた景観、暮らしや農業について、住民が自信や誇りを持って後世に繋げてもらえるよう声かけをしていきたい」と意気込みを述べました。



世界農業遺産認定申請2次審査に参加された皆さん

また、参加した農業者からは、「世界農業遺産認定に挑戦することは良いことだと思う」、「世界農業遺産に認定され、多くの方に奥出雲町を見に来ていただき、奥出雲町の食を味わってもらいたい」と期待を述べられました。

今回の国内承認の結果は、2月中旬頃に発表されます。国内審査を通過すると、国連食糧農業機関(FAO)へ世界農業遺産の認定申請を行うこととなります。

1月21日、役場仁多庁舎にて令和3年消防辞令交付式と感謝状贈呈式が行われました。1月9日に予定されていました消防出初め式が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、その代替として開催され、団長、副団長と退団する団員の代表者が出席しました。

員数は、退団者38名、入団者17名の異動により、505名となりました。村尾団長は、「昨年は、様々な事業が中止となりましたが、我々は訓練を続けてきました。本年も、町民の皆さまの安心安全な生活を守るために、尽力してまいりました」と挨拶されました。



(左から)佐々木浩永副団長、中西修一前副団長、勝田町長、村尾紀代之団長、内田康也新副団長

★新たに副団長に就任する内田康也さんに抱負を伺いました

コロナ禍で活動制限が続いているが、消防団として、新しい生活様式を守りながら、安心安全なまちづくりを目指します。

★消防団を退団する中西修一前副団長に消防団の思い出を伺いました

昭和61年に入団し、35年間務めました。平成26年の第24回全国消防操法大会において阿井分団長として準優勝したことが思い出深い出来事です。多くの方が支援や期待をして下さり、それに応えられた事が嬉しく、人生においても財産となりました。長い消防団人生で、常に家族がサポートしてくれた事に感謝します。

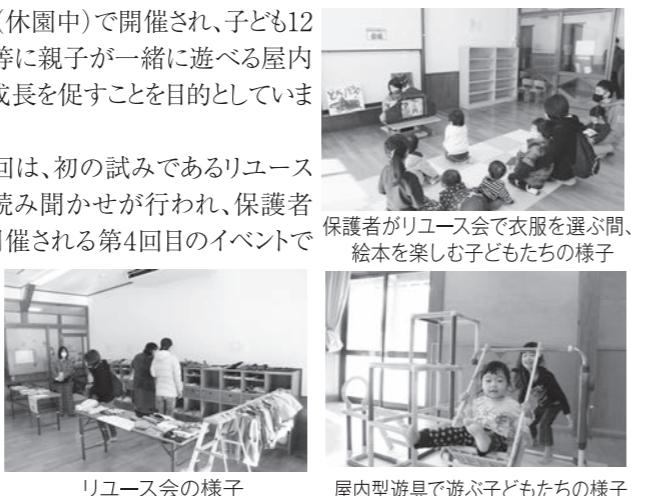
第3回屋内型子どもの遊び場イベントを開催しました

第3回屋内型子どもの遊び場イベントが1月30日に鳥上幼稚園(休園中)で開催され、子ども12人、大人12人の8組の親子が参加しました。このイベントは、雨天等に親子が一緒に遊べる屋内型の遊び場を提供し、親子の触れ合いにより、子どもの健やかな成長を促すことを目的としています。

参加した子どもたちは、楽器や屋内型遊具などを楽しみ、今回は、初の試みであるリユース会が同時に行われました。リユース会と同じ室内では、絵本の読み聞かせが行われ、保護者がゆっくりと衣服を選べるように工夫されました。次回3月7日に開催される第4回目のイベントでは、衣類のほか子育て用品なども出品する予定です。

イベントに参加した保護者からは「幼稚園施設なので、安心して思いっきり遊ばせることができました。」と好評を得ていました。

次回>3月7日(日)
詳細については、後日、公開するWEB「町ごと子育て奥出雲」や幼稚園、子育て支援センターで配布するチラシをご覧下さい。(お問い合わせ)電話050-5213-2378(株式会社オクリノ)



奥出雲町スポーツ推進委員会 全国スポーツ推進委員連合団体表彰を受賞

奥出雲町スポーツ推進委員会が全国スポーツ推進委員連合団体表彰を受賞しました。この賞は、公益財団法人全国スポーツ推進委員連合が、長年に亘り、地域のスポーツ振興に功績のあった関係者・団体を表彰するものです。

奥出雲町スポーツ推進委員会は、町内9地区から各2名、仁多・横田地域から代表して各1名の20名で構成され、生涯スポーツの推進や町民の皆さんの体力増進を目的として活動をされています。

活動としては、小中学校の親子軽スポーツ活動での指導や幅広い年代が参加できるカローリング大会を開催されているほか、研修にも参加され、必要な知識や技術を身につけ、体力測定会等を開催されています。

当委員会の川西会長は、「今までの積み重ねにより表彰され、とても嬉しく思います。今後も目的を達成できるよう活動を続けていきます」と話されました。

※カローリングとは、氷上のスポーツであるカーリングを、もっと手軽に室内でも楽しめるように開発されたスポーツです。

町内では、毎年2月頃に開催されていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



(左から)
松田教育長、川西会長、荒木副会長、大坂副会長

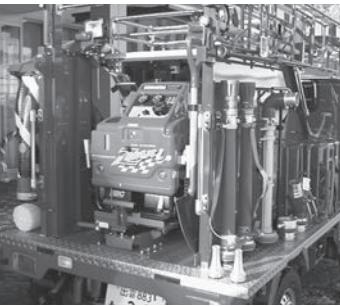
消防車両交付式及び配備式が行われました

1月30日、役場仁多庁舎にて消防車両交付式が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して行われ、町から奥出雲町消防団へ最新鋭で高機能な小型動力ポンプ付軽積載車3台と小型動力ポンプ1台が交付されました。

交付式後、続けて消防車両配備式が行われ、村尾団長から三成・亀嵩・阿井・鳥上の分団長へそれぞれ車両が配備されました。

車両が配備された分団を代表して福田阿井分団長は、「配備された車両の操作方法を速やかに習得するため訓練に励みます。また、地域の皆さまのため消防活動に努めます」と抱負を述べられました。

- 配備先
- ・小型動力ポンプ付軽積載車
三成分団第6部・亀嵩分団第4部・阿井分団第4部
 - ・小型動力ポンプ
鳥上分団第4部



小型動力ポンプ付軽積載車

令和2年度全国高等学校総合体育大会 第70回全国高等学校スキー大会激励式

～激励式で意気込みを語っていただきました～



景山慎平選手

令和2年度全国高等学校総合体育大会第70回全国高等学校スキー大会のアルペン男子スラロームに出場する横田高校の景山慎平さん(2年)の激励式が2月2日に役場横田庁舎で行われました。景山選手は、1月5日から6日にかけて琴引フォレストパークスキー場で開催された島根県予選会で2位となり、全国大会への出場権を得ました。

大会は、2月6日から10日にかけて長野県で開催され、健闘されました。

アルペン…旗門を通過しながら斜面をいかに速く滑り降りるかを競う競技。
スラローム(回転)…アルペン種目の中でも最も旗門の間隔が狭い種目で、素早く正確なターン技術が要求される種目。